

熊 事 研 会 報

第79号

平成17年7月7日

発行人 熊本県学校事務研究協議会
会長 魚住 光二
編集代表 研究部長 大岩眞二
〒868-0081人吉市上林町622
TEL096(369)2004 Fax096(331)1530

< 今回の主な内容 >

- ・会長挨拶
- ・第1回理事会だより
- ・平成17年度役員 紹介
- ・県大会の概要
- ・地区研紹介
(菊池地区会長挨拶)

ご 挨 拶

毎日のお仕事、大変ご苦労様です。
昨年度に引き続き、会長をさせて頂くことになりました魚住でございます。
この一年間は、訳が分からないまま、あっという間に過ぎてしまったようで、「あれもやりたい」「これもやりたい」という
気負いばかりが先走ったような気がしています。

それでも何とか、「30回記念大会」を成功させることができましたことは、理事・役員の方々を始め、会員の皆様方
のご協力のおかげと心から感謝申し上げます。

一方では「標準職務表の県教委通知」や「義務教育費国庫負担制度堅持の県議会請願」がうまく進まず、自らの非
力を嘆く一年でもありました。

本年度は、これらの課題に加え「人事評価制度の本格導入」更には「全事研加入の賛否の採決」など、大きな課題を
背負った一年になりますが、各地区の理事の皆様を始め役員の方々と一丸となってひとつ一つの課題に真剣に対応し
ていく所存であります。

とりわけ「標準職務表」につきましては、会員の皆様方の期待感も高く、また「人事評価制度」における事務職員の職
務の基準としても適切なものと思われまますので、今後一層の県教委折衝を積み重ねて行く必要性を感じております。

また、本年2月に出されました県の「行財政改革基本方針」によりますと、「財政改革としての人件費の削減」や「行政
改革としての地域振興局の統廃合」などが来年度までに具体的に動き出すこととなりますが、いずれにせよ私たち事
務職員にとっても相当の影響が出てくるものと思われまます。

とりわけ、既に他県で実施されています「教育事務所の廃止」などが実施されるとすれば、私たちに直接的に影響す
ることになりますし「権限委譲の拡大」を始め、仕事内容にも大きな変革が求められることとなります。

もとより、この秋には結論が出される「義務教育費国庫負担制度」の帰趨次第では学校事務職員制度そのものの存
続が左右されることにもなりかねませんが、このような大きな問題は私たちだけで解決できるものではなく、全国小中
学校事務職員研究会、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県市町村教育委員会連絡協議会、熊本県小中
学校長会をはじめ、多くの教育関係諸団体の皆さまのご支援とご協力が必要であることは言うまでもないことで、この
場を借りまして一層のご支援とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

これらの諸課題に立ち向かうためには、県下650名の会員の皆様とともに、学校事務職員制度発足以来58年間に
渡って多くの諸先輩方が積み上げてこられた沢山の成果を若い方々へ引き継ぎつつ、また、新しい時代の局面にも柔
軟に対応できるような事務研に成長して行くことで展望が開けるものと思ひます。

そして何よりも、皆様毎日楽しく、安心して仕事ができるような職務の確立、研修体制の確立ができるようになら
ないと事務研の存在意義は無いものと思ひます。

このような重大な一年ではございますが、皆様と一緒に精一杯飛び回る所存でございますので、どうぞご協力くださ
いますよう宜しくお願い申し上げます。

熊本県学校事務研究協議会長 魚住光二

第1回理事会だより

H17.6.10(金)
於:水前寺共済会館
事務局長 今坂文枝

新しい理事6名を迎えて、今年度最初の理事会を6月10日に開催しました。議事の概要についてお知らせします。

1 旧年度報告

- (1)平成16年度事業報告
- (2)平成16年度決算報告
- (3)平成16年度監査報告

昨年度、理事会でも報告をしておりましたが、報告のとおり理事会として承認しました。

2 新年度計画

- (1)平成17年度役員
- (2)平成17年度事業計画
- (3)平成17年度会計予算

今年度の基本的な計画ですが、理事会案として決定しました。正式には総会で皆様に承認して
いただきます。

★ 全事研加入については、各地区理事から各地区の協議状況について報告されました。各地区で充分報道はされ
ているようです。協議状況については地区ごとに若干差があるようですが、「全事研には地区から例年何人かが参

加しているの、加入するとすれば、前向きにしてくれると思います。」等の理事からの報告もありました。今年の総会で加入について採決することで決定されました。

★ 大会会計や有料化前の事務必携特別会計について、残金があるなら、もし必要なときはそれを使うということで、参加費や必携代の引き下げをしてもいいのではとの意見がありました。その件については、今年は様子を見て来年度に再度検討することになりました。

3 県大会関係

- (1)基本計画 (5)大会協力員配置計画
- (2)全体研究会実施計画 (6)大会までのスケジュール
- (3)分科会運営要項 (7)参加者証について
- (4)大会期日及び借用施設

第31回大会が、下記の日程で開催されます。会場は昨年も大多数の参加者から好評でしたし、二日間通して同じ会場で全体会、分科会を実施できる利点があるため、今年も鶴屋ホール・テトリア熊本で実施します。

○開催期日 10月19日(水)～20日(木)

○会 場 鶴屋ホール・テトリア熊本

* 鶴屋が開店する前からの入場となりますので、今回も入場の際には「参加者証」の提示が必要になります。参加者証は地区でお配りいただきますので、紛失等のないようご協力ください。

★ 昨年、研究大会の地区からのレポートの原稿が、一部抜け落ちていたので今後原稿の再確認をお願いしたいとの意見をいただきました。今後原稿確認については充分気をつけます。

★ 分科会での発表に対して、発表者への礼儀に欠ける発言が過去にあったということで、今後はそのようなことがないように、各地区で配慮して欲しいという意見がありました。

平成17年度役員紹介

◇理事等

地 区	氏 名	学 校 名			
会長	魚住 光 二	岡原中学校	熊 本	坂本 一博	麻生田小学校
副会長(上益城)	中川 主 税	矢部小学校	宇 城	赤星 龍一	当尾小学校
副会長(鹿本)	井上 雅 晴	岩野小学校	八 代	早田 浩一	八代第五中学校
荒尾玉名	柴尾 講 希	荒尾第四中学校	人吉球 磨	森山 哲彦	中原小学校
菊 池	満田 憲 章	西合志南中学校	水俣芦 北	大窪 広行	田浦小学校
阿 蘇	藤原 道 則	高森中央小学校	天 草	濱 明満	本渡東中学校

◇事務局

役職名	担 当	地 区	氏 名	学 校 名
事務局 長			今坂 文枝	健軍小学校
事務局 員	総 務	宇 城	高田 剛	宇土小学校
		上益城	有田 桂子	七滝小学校
	事 業	荒尾玉名	萩尾 綾子	玉南中学校
		荒尾玉名	山下 貴子	小天小学校
	会 計	八 代	丸塚 裕子	代陽小学校
		八 代	大井 聡恵	千丁小学校

◇研究部

役職名	担 当	地 区	氏 名	学 校 名
研究部長			大岩 眞二	人吉第二中学校
研究部員	会 計	熊 本	山口 美由紀	桜木中学校
	広 報	人吉球磨	福永 高嗣	水上中学校

	菊池	緒方 英雄	菊陽北小学校
	宇城	氏原 美和子	小川小学校
編 集	荒尾玉名	清藤 崇	横島小学校
	鹿本	松本 由香	千田小学校
	八代	嶋原 亜希	高田小学校
	水俣芦北	西田 美和	湯出中学校
	阿蘇	藤本 久美子	古城小学校
課題検討	上益城	水田 全治	益城中学校
	天草	阿部 啓介	教良木中学校

◇監事

地 区	氏 名	学 校 名
荒尾玉名	土倉 英雄	中央小学校
八代	山下 修二	金剛小学校

旧役員さんです。

副会長 松崎 喜一(天草)
 理事 池田 義信(鹿本)、軒口 輝男(熊本)、宮本 博文(宇城)、田中久美子(水芦)
 監事 米納美代子(熊本)、深水由貴子(人球)
 事務局員 志垣 誠(荒玉)、告本 哲也(上益城)、山口 孝史(天草)、中山 博美(天草)
 研究部員 石原 幸太(荒玉)、大久保千代美(菊池)、一地 明美(阿蘇)、大石靖子(熊本)

役員を終えられた皆様、たいへんお疲れ様でした。ありがとうございました。

第31回熊本県学校事務研究大会基本計画

1 基本計画(案)

- 1 大会テーマ 学校事務の改革と創造を目指して—語り合おう！ 21世紀の学校事務像を—
- 2 目 的 (1) 学校の自主性・自律性の確立が求められるなか、学校経営の改善を目指した学校事務職員制度改革の研究を推進する。
 (2) 児童・生徒の学習環境を整えるため、教育諸条件の整備確立を目指した研究を推進する。
 (3) 学校事務改善の研究を深め、学校経営の一翼を担う職員としての資質向上をはかる。
- 3 主 催 熊本県学校事務研究協議会
- 4 後 援 熊本県教育委員会、熊本県市町村教育委員会連絡協議会
 熊本市教育委員会、熊本県小中学校長会
- 5 参加対象者 小・中・養護学校の学校事務職員(県費及び市町村費)・学校事務担当者、県教育委員会・市町村教育委員会職員、その他参加希望者
- 6 期 日 平成17年10月19日(水)～20日(木)
- 7 場 所 1日目全体会場 鶴屋ホール
 2日目分科会場 鶴屋ホール、県民交流館パレア(テトリア熊本内)
- 8 日 程

9:20 10:00 11:40 13:00 16:00

10月19日 (水)	受付	開会 大会行事	総会行事	昼食	全体研究会 「学校事務職員制度の 課題と展望 VII」
---------------	----	------------	------	----	--------------------------------------

10月20日 (木)	受付	分科 会	昼食	分科 会	閉会 行事
---------------	----	---------	----	---------	----------

地区研紹介

今回は菊池郡市です。

一 地区の紹介

菊池郡市は、熊本市の北東部に位置し、南は熊本平野の周辺部(白川を挟む台地)にあり、北部は菊池平野とその周辺部にあります。

菊池市(3/22合併:菊池市・泗水町・七城町・旭志村)、合志町、西合志町、菊陽町、大津町の1市4町で、地域の人口は161,895人です。(H16, 4, 1現在)

熊本市に接する南部はベッドタウン化しており、ここ20年で人口が倍増しました。

中世・近世は、菊池郡、合志郡といわれ、菊池一族・合志一族に関係する事柄や旧所名跡が多く見られます。

菊池温泉、菊池神社、菊池溪谷、清酒「菊の城」、新潟コシヒカリを抜いて品質日本一の七城米、孔子公園、ホテルの里、カントリーパーク、生産高日本一のカスミ草、菊陽町の人参、大津町の甘藷、大規模の県営住宅、大工業団地。

農業・工業・酪農の混在と、歴史の新旧。諸々の混在こそが、菊池郡市の特長かもしれません。

各市町には、様々な温泉施設も豊富にあり、色々とお立ち寄りいただくと必ずや期待に沿えることは必定です。

二 会の紹介

さて、菊池郡市には、学校事務研究会として二つの組織があります。(役員は兼務)

会員数50名で平均年齢47歳(46校:小学校33校、中学校13校)(男性29名平均年齢50歳、女性21名平均年齢44歳)と、他郡市よりも高齢化が進んでいます。

一つは、「菊池郡市小中学校事務担当者会」で、教育事務所庶務課が顧問になっており、教育事務所と連携して、県費事務の研修を行っています。

現在は、半日研一回、研修視察(全日研)一回の計2回を自主研修で行っており、他郡市同様に年3~4回の事務所主催の研修会・会議があれば、改正県費事務についても双方の情報交換ができるので、その運用もよりスムーズになるのではないかと考えられます。もう一つは、菊池郡市教科等研究会「事務部会」です。

研修委員会は、昨年度は新菊池市への合併にむけて、10回ほど、出張(定例報告)の後に会合を持ち、「財務要領」「物品取り扱い規定」「文書要領」「公印規程」の4案を作成し、校長会・教育委員会を通じて、合併協議会にお願いしてきました。

現在のところ、3/22教育委員会訓令「菊池市立小中学校公印規程」だけですが、あと三つの要領・規程の成立に向けては、新菊池市19校の事務研究会(事務職員)の今後の取り組みの強化が待たれます。

広報委員会は、会報「凧」35号を発刊しました。広報委員は原稿集めに苦労していますが、長年発行できましたことは、本会の財産です。

年4回の研究会(半日3回、全日1回)は、3つの分科会形式で行っています。

「条件整備」は、財務関係分科会で今年の県大会で「学校建設に関わって」発表します。

「事務改善」は、コンピューター分科会でホームページの立ち上げを今年度計画しています。

「学校経営」は、事務分掌表を作成し、校務分掌作成のための標準化を目指しています。

三 そして

来年2/27、合志町・西合志町が合併して「合志市」が発足します。

新菊池市の発足に向けて、当研究会として提案した実績がありますので、それを参考に、これからの合併等を契機として更に研修を深めたいと思います。

西合志町では、昨年から学校事務の共同実施のために、兼務辞令が出されています。

今年は、加配なしで小学校四校(県費5名)に発令され、連携強化・効率化を目指すと謳われています。合併で学校数が減少する中での、県費事務職員の定数はどうなるか、今後の展開を注視する必要があります。

◇広報班よりお願い◇

○「熊事研会報」企画アイデア募集について

昨年、研究部では、熊事研会報に各地区研紹介や共同実施についての記事を載せてみました。この企画の方は本年度も継続していく予定ですが、まだまだ内容に面白みが足りない感じがしています。そこで会員の皆様にお願

です。記事できる色々な企画アイデアを募集します。

こんな記事が読みたいという要望でも構わないし、ここが物足りないなどのご意見でも構いません。下記の宛先にFAXまたは、Eメールによりお願いします。たくさんのお返事をお待ちしております。

○「熊事研ホームページ」企画アイデア募集について

熊事研では一昨年より研究部を中心にホームページを開設し、企画運営を行ってきました。現在の内容については、理事会議事録、熊事研究会報の記載、大会の案内、事務研等へのリンクなどです。

こんなコーナーがあればいいな、こんな情報を提供してほしいなどの要望やこんなサイトがあればよりホームページを充実させることができるなどアイデアを募集します。下記の宛先にFAXまたは、Eメールによりお願いします。熊事研ホームページの「ご意見・ご要望」をクリックするとメールアドレスの入力を省略できます。たくさんのご意見ご要望をお待ちしております。

熊事研研究部広報班アイデア受付係

〒868-0302 球磨郡水上村湯山1番地 水上中学校 福永高嗣 宛

FAX:0966-44-0561

E-Mail: ceefukunaga@yahoo. co. jp

jimukenws@edu-c. pref. kumamoto. jp

FAX送信票

熊事研研究部広報班アイデア受付係

水上中学校 福永高嗣 行

FAX:0966-44-0561

送信元	
お名前: 学校名:	
会報・ホームページ で	
上記のような要望・意見・アイデアがあります。	

※会報・ホームページのどちらか、要望・意見・アイデアのどれか丸印でわかるようにお願いします。
お名前、学校名はできるだけ記入して下さい。

